

あそび たいがあ〜

vol.9
~2012年11月号~



みなかみくれよんクラブ
学校の図書館に行ってみよう!

(高山小学校図書館にて)

CONTENTS

P2-3 **特集** 赤ちゃんふれあい体験

・中央公民館・西部公民館・高山公民館

P4-5 大田のイベントレポート

P6 たいがあ〜の部屋

P7 あそび・イベント情報 12月

P8 JAPANのおおだにきています!



赤ちゃんふれあい体験

大田市において、これまでも乳児健診に合わせて毎年行われてきました。今年度からは、大田市健康保険年金課より、大田市公民館連絡協議会にこの事業が委託され、公民館が主体となって、市内の小学生、中学生、高校生が乳幼児とふれあう活動を展開しています。(写真は大田三中全会の様子)

今年度は、大田市立中央公民館、西部公民館、高山公民館が実施主体となり、市内3か所で「赤ちゃんふれあい体験」が行われています。

赤ちゃんとのふれあい体験の前には、接し方や抱っここの仕方を学んだり、自分自身が赤ちゃんだったころの様子を家で聞いてきたりするなど、事前学習が行われました。

体験活動では、自己紹介をした後、児童・生徒は、乳幼児保護者から、子どもの誕生の時の様子や名前に込めた願い、子育ての様子などを聞き、親の子どもに対する思いをしっかりと受けとめました。

また、実際に赤ちゃんを抱っこしたり、おむつ交換をしたり、読みきかせをしたりして、しっかりふれあいました。

大田市民センター会場

主催：中央公民館
 と き：平成24年8月7日（第1回）
 12月9日（第2回予定）
 参加者：瀬摩高校生 2名、大田高校生 3名
 出雲西高校生 1名、大田一中生 8名
 ひよこランド乳幼児親子 12組

スタッフ：
 母子保健推進員 1名
 指導講師 1名
 地域ボランティア 3名
 社会教育指導員 1名
 公民館スタッフ 2名



参加者の感想

■ 児童・生徒

- いっぱい話しかけると喜んでくれるのが分かってよかったです。
- お母さんはいろいろな苦勞を重ねて赤ちゃんを育てているんだなあ、と思いました。お母さんは偉大です。
- ぼくは一人っ子で、赤ちゃんを抱っこするのは初めてなので緊張しました。でも慣れてくると自然に笑顔になり、赤ちゃんも安心してくれているようだったので、うれしかったです。



大田市民センター会場の様子



- 中央公民館 (邇摩高校、大田高校、出雲西高校、大田一中 生徒)
- 西部公民館 (五十猛小4.5.6年生) 高山公民館 (大田三中3年生)

「赤ちゃんふれあい体験」のねらい

■ 児童・生徒にとって

- ・子育ての喜びと苦勞を知ることにより、家族への感謝の気持ちを育てます。
- ・大切に育てられたことを知り、自分を大切にする気持ちを育てます。
- ・成長する乳幼児とふれあうことにより、命を大切にする思いを深めます。
- ・保護者・乳幼児、地域の方とふれあう中で、規範意識を高め、基本的な礼儀作法を学び、コミュニケーション能力を高めます。

■ 保護者にとって

- ・児童・生徒と交流することにより、成長したわが子の姿をイメージできます。
- ・保護者同士の交流の場となり、つながりができ、情報交換ができます。
- ・地域の方々、子育て支援関係者のみなさんとのつながりができ、いつでも相談に乗ってもらえることが分かり、安心して子育てをすることができます。

■ 赤ちゃんにとって

- ・いつもと違う人に抱っこされることにより、心身の発達が促進されます。
- ・たくさんの人に好意的な言葉をかけられたり、優しいまなざしを向けられたりすることで、対人関係において安心感が育ちます。



五十猛小学校会場

主催：西部公民館
 と き：平成24年 9月 5日 (事前学習)
 9月14日 (第1回)
 12月13日 (第2回予定)

場 所：五十猛小学校
 参加者：五十猛小学校児童
 4.5.6年生 22名
 西部ブロックの
 乳幼児親子 16組

スタッフ：
 母子保健推進員 4名、主任児童委員 4名
 民生委員 3名、健康保険年金課保健師 1名
 五十猛小学校教職員 5名、公民館職員 2名



大田三中全会場

主催：高山公民館
 と き：平成24年 9月20日 (第1回)
 11月20日 (第2回)

場 所：第三中学校
 参加者：第三中学校 3年生生徒 17名
 みなかみくれよんクラブの
 乳幼児親子 10組

スタッフ：
 母子保健推進員 3名
 主任児童委員 1名
 保育士 1名
 健康保険年金課保健師 2名
 第三中学校教職員 6名
 公民館職員 2名



■ 乳幼児保護者

- うちの子は人見知りかはげしいのですが、いろいろな方とふれあう機会となり、とてもうれしいです。
- 次に中学生と会うときは、子どもは4か月を過ぎているので、寝返りができるようになっているかも…。その成長ぶりを見てもらえるとうれしいです。
- 前日アルバムをめくり、子どもが生まれた時などこの1年半を振り返る良いきっかけをいただきました。



■ スタッフ

- 赤ちゃんも、いろいろな人に抱っこしてもらいうれしそうでした。次も楽しみにしています。
- 中学生のみなさんには、将来の子育てに向け、良い経験になったと思います。地域の人とふれあうことは、生徒さん、保護者にとって良いことだと思いました。
- 少子化でなかなか地域の赤ちゃんとのふれあいのない中、この体験で、命の大切さをより実感できたのではないかと思います。



おおだのイベントレポート

Report 01

骨の学校

日時 10月21日(日) 10:30~12:00
場所 島根県立三瓶自然館サヒメル
講師 盛口 満 (沖縄大学人文学部准教授)
参加者数 33人 (子ども 8人・おとな25人)



“ゲッチョ先生”こと盛口満先生による「骨の学校」が開催されました。「ゲッチョ」とは、千葉でトカゲとカマキリの両方を表す方言なのだそうです。

ゲッチョ先生は沖縄からたくさんの動物の骨を持ってきてくださり、骨からわかる様々な動物の生活の特徴から、動物と植物のかかわりまでを楽しいお話で教えてくださいました。とても白熱した2時間でした。



この骨が何かわかるかな？



授業が終わってからも質問



こんなにたくさんさんの骨たち…!!

おまけクイズ!

問題：ネズミの前足の指は何本でしょう？

正解は…：アメリカ生まれのあの有名なネズミのキャラクターをみてみましょう!

Report 02

2012温泉津 秋のやきものの祭

日時 10月20日(土)・21日(日) 9:00~16:00
場所 温泉津やきものの里
主催 温泉津やきものの里、
NPO法人石見ものづくり工房

春に引きつづき、秋のやきものの祭が開催されました。

登り窯のライトアップや窯出し、窯元巡りスタンプリング、福光石切り場ガイドツアーなど、たくさんの企画がありました。創作教室には子ども連れの姿があり、市内はもちろんのこと、広島から来た家族もいらっしやいました。「一年前にここで作った作品が割れてしまったので、改めて作りにきました」とお話しくださいました。



やきものの里のシンボル、登り窯



らとちゃん
NPOものづくり工房の
石橋さん



できあがり
こんな感じです

創作教室
熱中してますね



「みんなのらとちゃんコンテスト」
素焼きの陶板。優秀作品にらと
ちゃんグッズが進呈されました。

Report 03

第30回記念!! 高山登山大会 in 馬路



日時 10月28日(日) 9:00~12:30

主催 大田市体育協会、仁摩高山登山大会実行委員会

参加者数

場所 旧馬路小学校体育館、馬路高山

共催 馬路・仁万・宅野・大国まちづくりセンター

90名(参加者:子ども9名)



雨天でも元気にウォーキング

山道には秋の名物が落ちていました



家族や友達とみんなで参加

伝統の高山登山大会が3年ぶりに開催されました。今年は30回記念大会ということで、小雨でしたが決行されました。

開会式の後、高山の途中まで登山し、その後琴ヶ浜までウォークして、それぞれの場所で銀山ガイドの松浦良彦さんの話を聞きました。

体育館に戻ってからは、温かい豚汁を食べながらビンゴゲーム大会です。みなさん何が当たりましたか?



ビンゴゲーム! 豪華賞品をゲット!

子育てサロン「みなかみくれよんクラブ」

代表 **高橋宏枝** さん

(37歳)



ベビーマッサージ教室



お子さんの足型手型をとりました



みなかみくれよんクラブのみなさん

た：たいがぁ〜 **たか**：高橋さん

- た**：ご出身はどちらなの？
たか：祖式町です。子どもは、4才の男の子、2才の女の子、6か月の男の子の3人です。
た：「みなかみくれよんクラブ」ってなあに？
たか：月に1度、乳幼児の親ごさんで集まって、茶話会をしています。夏休みには平田からワクワクバンドさん呼んでライブを聞いたり、冬には料理教室をします。今年はおはぎを作る予定ですよ。
た：高橋さんはどうしてこのサロンに入っちゃったの？
たか：子どもが産まれたときに自宅訪問にきてくださった母子推進員さんのご紹介です。
た：サロンに参加してよかったことは？
たか：出産のときに、サロンを通して知り合った公民館やまちづくりセンターの方たちが手伝ってくださったことです。
た：他の参加者の反響は??
たか：「赤ちゃん登校日」のときに、中学生が子どもをかわいがってくれたりミルクを飲ませてくれたのがうれしかったみたいです。いろんな人との関わりがよかったのかな。

- た**：今後はどんなサロンにしていきたい？
たか：サロンのメンバーには市外や県外出身のお母さんもいます。そんな方たちにとっても癒しの場になればいいですね。
た：サロンに参加する親ごさんとお子さんたちに一言！
たか：連絡はメーリングリストを使ってやっていますし、気楽に参加してくださいね。
た：ありがとうございました！

みなかみくれよんクラブの今後の予定

- 日時** 月に1回（メンバーの都合のいい日時を相談して決めます）
 12月にはクリスマス会、1月には料理教室を予定しています。
- 集合場所** 水上まちづくりセンター

お問い合わせ
 水上まちづくりセンター
 TEL:0854-89-0023

あそび
イベント
情報 12月

市民の皆様からのイベント情報をお寄せください。今後編集部から取材に伺わせて頂くこともあります。



三瓶何でもトライ塾

12/2 日曜日 9:00 ~ 12:00

場所 大田市山村留学センター

問合せ 三瓶公民館 (Tel. 0854-83-2550)

第55回大田市小・中学校連合音楽会

12/5・6 水・木曜日 9:20 ~ 15:30

場所 サンレディー大田

ひよこランドクリスマス会

12/9 日曜日 10:00 ~ 13:00

場所 大田市民センター

問合せ 中央公民館 (Tel. 0854-82-6630)

コミュニケーションを考える講座

12/15 土曜日 13:00 ~ 15:00

場所 久手まちづくりセンター2F集会室

問合せ 東部公民館 (Tel. 0854-82-5122)

図書館

おはなし会スペシャル

12/8 土曜日 14:00 ~



ストーリーテリング

12/15 土曜日 14:00 ~

0~4才のおはなし会

12/20 木曜日 10:30 ~

おはなし会

12/22 土曜日 10:15 ~

場所・問合せ 大田市中央図書館 (Tel. 0854-84-9200)

ダンスでUKIUKI

・おはなしWAKUWAKU

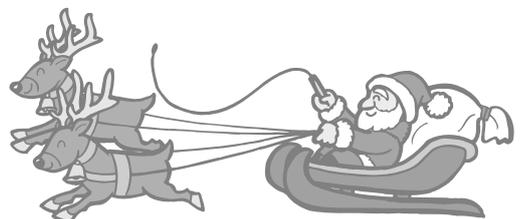
12/22 土曜日 18:15 ~ 19:30

場所・問合せ 仁摩図書館 (Tel. 0854-88-4646)

おはなし会

12/22 土曜日 10:15 ~

場所・問合せ 温泉津図書館 (Tel. 0855-65-2177)



I'm in Ohda, JAPAN now!

JAPANのおおだにきています!



第4回

ソフィアシ・アイトゥアブデルマレック

Sofiane Aïtabdelmalek さん(22)
フランス

ニックネームは?

ソウソウ

おおだにいる期間は?

10月2日～12月21日 (NICE中期ボランティアとして)

五十猛小学校や
こだま学園での交流は
いかがでしたか?

五十猛小学校の子どもたちとは、一緒に川で亀やカニ、魚を見ました。それから、どんぐりやまつぼっくりを拾い集めたり、オナモミを投げ合っで遊んで、仲良くなれました。こだま学園ではカヌーをしましたよ。

日本の漫画は知ってる?

一番好きなマンガは、ワンピースです。好きなキャラクターはゾロですね。刀を3本持っているのがカッコいい♪

地元はどんな所!?

フランスの首都パリです。フランスはヘキサゴン(六角形)の形をしていて、パリは中心より少し北にあります。「雨の町」と言われていて、1年365日のうち150日は雨です。

フランスと日本の子どもは
違いますか?

どの国でもそうですが、シャイ(恥ずかしがり屋)ですね。文化の違いからか、私のジョークが通じないこともありました(笑)

おおだでやりたいことは?

おおだでは、自然だけでなく、子どもやおじいさん・おばあさん、たくさんの人と交流したいですね。

竹杖デザインコンテスト

表彰式&ワークショップを開催しました!!



5月号(vol.6)で募集いたしました「竹杖デザインコンテスト」は、全国から50点の応募があり、10月20日(土)には大森町の中村館で表彰式が行われました。



最優秀作品の杖は、竹の素材と布があれば誰でも作れる優れもの。11月2日(金)には、ゆきみーるで「竹ツエつくりワークショップ」も開催されました。



最優秀賞は、
筑波大の福島梓さん(23)
の作品

■竹杖つくりワークショップは出前授業ができます!!

●材料費実費で支払いも可能 ●材料の竹と布があれば材料費はいりません
お問い合わせは、NPO法人緑と水の連絡会議まで。

大田市 元気な子どもづくり事業

[大田市教育委員会委託事業]

「あそびたいがあ〜」は「遊びたいよね」を意味する大田地方の方言です。大田市内の子どもたちが積極的に放課後や休日に地域での活動に参加し、地域の「ひと」「もの」「こと」に触れ、体験し、学ぶことで、心豊かでたくましい子どもに育ててほしいという願いが込められています。

発行

NPO法人 緑と水の連絡会議

〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ 376-1

☎ 0854-83-7373 FAX 0854-84-0262
(ゆきみーる内)

www.iwami.or.jp/ohgreen/ ブログ毎日更新中!

E-mail : gjinmori@hotmail.co.jp



2012年11月発行

